

スタンダード体外受精と フレンドリー体外受精の開始(自己負担なし)



卵子の受精から発育過程を観察記録できるタイムラプス

助成金による自己負担のない体外受精

この5年間の当院の体外受精顕微授精による妊娠率は35.8%で全国レベルの約2倍の妊娠率です。このように従来の体外受精(スタンダード体外受精と呼びます)は表1表2のような妊娠率です。スタンダード体外受精の治療費は排卵誘発から胚移植まで約40〜45万円かかります(採卵から胚移植の料金は約26万円)。助成金の対象の方は約40万円から助成金を引いた額、およそ5万円〜10万円が自己負担となります。そのため体外受精は、高額でありながら患者さんもいます。当院はこの問題を解消するため、自己負担の無いフレンドリー体外受精を開始しました。道と地方の助成金を加えた額内での治療です。ただし夫婦の年収(控除後所得)が730万円未満であることが条件です。助成金は例えば苫小牧在住の方は、道の30万円と市の5万円を合わせて35万円が、1回目の助成金となり、排卵誘発から胚移植までがこの金額内で可能です。助成金の金額が地域により異なるため内容も多少違いがありますが新鮮胚移植ができます。場合によっては複数個の受精卵があれば凍結も可能です。2回目は凍結胚移植も可能です。ただし、フレンドリー体外受精はスタンダード体外受精に比べ妊娠率はやや下がります。約20〜25%

妊娠率です。治療前の必要な検査は自己負担となり、既に一般不妊の検査治療を受けている人は、検査費はほとんどかかりません。他院の検査結果も活用できますが、過去6カ月までの新しい検査結果をお持ちでない方や初診の方は、治療前に最低限の検査が必要となり自己負担額は、2千5百円〜2万5千円となります。従って妊娠率を最優先に望み経済的に余裕がある方には従来の体外受精(スタンダード体外受精)をお勧めします。助成金の受けられない方や助成金をすでに使い切った方はご相談に乗ります。

妊娠率向上のための新たな設備、タイムラプスの導入(写真②・③)

当院の体外受精の妊娠率は35.8%でトップレベルですが、より妊娠率向上のため、今年9月より24時間の卵子の発育の過程を連続的に観察記録できる装置、タイムラプスを導入しました。正確に良質な受精卵を選ぶことで妊娠率の向上が望めます。

分娩のアプリア

今まで4Dエコーの動画をエンジェルメモリーというカードで行っていましたが、この度スマホで行えるアプリ「マタニティノート」を取り入れます。4Dエコーの動画だけでなく母親教室の予定や妊娠週数に必要な情報をお知らせできます。また緊急時の連絡も可能となります。

医療法人社団 **岩城産婦人科**

☎(0144)38-3800

苫小牧市緑町1丁目21番1号

←ホームページはこちらから



産科・婦人科・不妊症外来

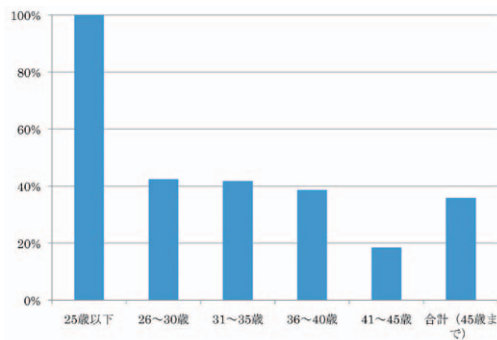
診療時間／
月・木・金／ 9:00~12:00
14:00~18:00
水・土／ 9:00~12:00
休日／日・祝日



過去5年間の体外受精妊娠率(表1)

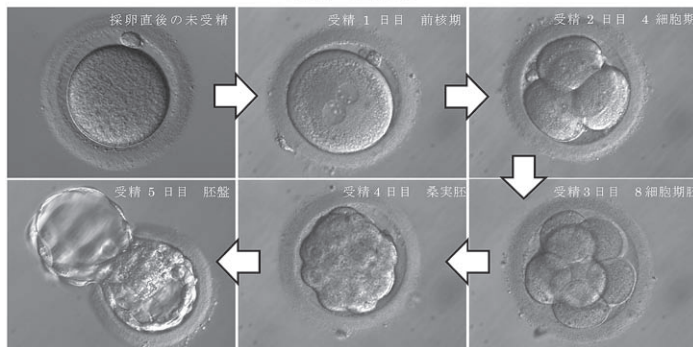
	体外受精施行数	妊娠者数	妊娠率
25歳以下	2	2	100%
26～30歳	66	28	42.42%
31～35歳	232	97	41.81%
36～40歳	347	134	38.62%
41～45歳	168	31	18.45%
合計(45歳まで)	815	292	35.83%

過去5年間の体外受精妊娠率(表2)

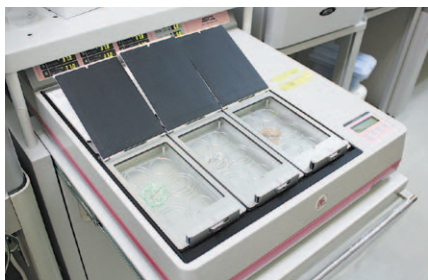


写真① 最新の顕微授精装置

受精卵の発育過程



写真② タイムラプス外観



写真③ タイムラプス内部



理事長 岩城 雅範

北海道大学医学部卒業。北海道産婦人科教室入局。北海道大学付属病院勤務。1992年より苫小牧市立病院勤務。95年に道内地方自治体病院で初の体外受精に成功。2000年に岩城産婦人科開業。14年、TBS「テレビ未来遺産」で同院の不妊治療が紹介される。産婦人科専門医、優生保護法医、特定不妊治療指定機関、不妊学会、受精着床学会。

更年期治療、婦人科、ブライダルチェック
 更年期治療として最近、主に処方しているのがメノエイドコンビパッチと呼ばれるシールです。これは女性ホルモンの成分がしみ込んでいるシールで腹部に貼ると皮ふからホルモンが徐々に吸収され効果が出ます。週2回交換し使用します。これは発がん性の心配もなく安全性の高い薬で有効性も高く即効性もあります。また、メノエイドコンビパッチに皮膚がかぶれやすい人には腕に塗るジェルタイプのル・エストロジェルを勧めています。よく更年期には大豆のイソフラボンがいいと言われます。しかし、イソフラボンになる前の大豆の成分であるエクオールという成分が吸収されやすく効果があります。エクオールという薬でホルモン剤の使用ができない方やホルモン剤に抵抗のある方にはお勧めです。この度エクエ

ルの処方を開始しました。ただし自費です。また漢方薬による治療も従来通り行っています。また、いくつかの治療法の組み合わせもできます。お気軽に相談してください。
 生理痛のピル(保険適用)、避妊のピル、アフターピルを取り扱っています。また月経(生理)をずらしたい人用に延長ピルを処方しています。ただし、飲み方の注意が必要です。詳しくはホームページを参照してください。
 ブライダルチェック女性用、男性用を始めます。また今すぐ妊娠は望まない人や今は独身だが将来の妊娠に何か問題がないかどうか心配な人のための卵巣年齢チェックを開始します。また独身だがなんとなく心配で精子を調べたい人で外来に行きにくい人のために日曜日に男性検査(精液検査および感染症検査)を予約の方のみに限定し始めます。

ホームページtopの
 ブログ紹介

- 岩城産婦人科ブログ
- 母親教室、産後1カ月健診予定、最近の不妊治療成績ブログ
- 「恋するフォーチュンクッキー」岩城産婦人科Ver.